

2014年2月3日
株式会社日本政策金融公庫
中小企業事業本部
保険企画部

第179回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2013年10～12月期実績、2014年1～3月期見通し)

[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、改善している ～景況は持ち直している～

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小した。
○ 借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや縮小した。
○ 借入実施企業の割合は、横ばい。
- 【保証利用】 ○ 保証利用企業の割合は、やや増加した。
※ 保証利用企業の割合・・・借入企業のうち信用保証を利用した企業の割合。
○ 保証利用要請D. I. の次期見込みは、プラス幅がやや拡大したものの、依然として要請度合いは弱い。
※ 保証利用要請D. I.金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】 ○ 生産・売上げD. I. は、バブル期以来、はじめてプラス水準に転じた。
○ 採算D. I. は、マイナス幅が縮小した。

＜調査の要領＞	調査時点	2013年12月中旬
	調査対象	9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪府、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先 14,000企業を対象としており、 回答企業の約8割が従業員20人以下の小規模企業 となっています。
	有効回答企業数	3,290企業
	回答率	23.5%

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2385(担当: 錦木、清水)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

第179回 信用保証利用企業動向調査 (2013年10～12月期実績、2014年1～3月期見通し)

< 業種別・規模別回答数 >

信用保証利用企業の資金繰りは、改善している

— 景況は持ち直している —

【金融関連】

○資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小。

○借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや縮小。

○借入実施企業の割合は、横ばい。

【保証利用】

○保証利用企業の割合は、やや増加。

○次期における保証利用要請D. I. は、プラス幅がやや拡大したものの、依然として要請度合いは弱い。

【生産等】

○生産・売上げD. I. は、バブル期以来、はじめてプラス水準に転じた。

○採算D. I. は、マイナス幅が縮小。

業種別	区 分	サンプル数	回答数		回答率
			回答数	構成比	
業 種 別	製造業	2,938	814	24.7	27.7
	内需関連製造業	1,203	309	9.4	25.7
	食 料 品	423	115	3.5	27.2
	織 維 品	407	102	3.1	25.1
	木 材 ・ 家 具	373	92	2.8	24.7
	機械金属関連製造業	1,735	505	15.3	29.1
	機 械	611	178	5.4	29.1
	電 気 機 器	342	92	2.8	26.9
	金 属	782	235	7.1	30.1
	非製造業	11,062	2,476	75.3	22.4
別	建設業	3,608	775	23.6	21.5
	卸売業	2,586	651	19.8	25.2
	小売業	2,211	463	14.1	20.9
	サービス業	2,657	587	17.8	22.1
規 模 別	0～20人	—	2,486	75.6	—
	0～2人	—	476	14.5	—
	3～5人	—	821	25.0	—
	6～20人	—	1,189	36.1	—
	21人以上	—	563	17.1	—
	21～50人	—	388	11.8	—
	51人以上	—	175	5.3	—
不 明	—	241	7.3	—	
合 計		14,000	3,290	100.0	23.5

(1) 資金繰り状況

・資金繰りD. I. は、マイナス幅がやや縮小した。

		2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
資金繰りD.I.	実績	▲ 23.0	▲ 21.2	▲ 14.8	▲ 13.7	▲ 9.6	
	見通し	▲ 19.1	▲ 21.2	▲ 13.1	▲ 9.4	▲ 9.8	▲ 6.1

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

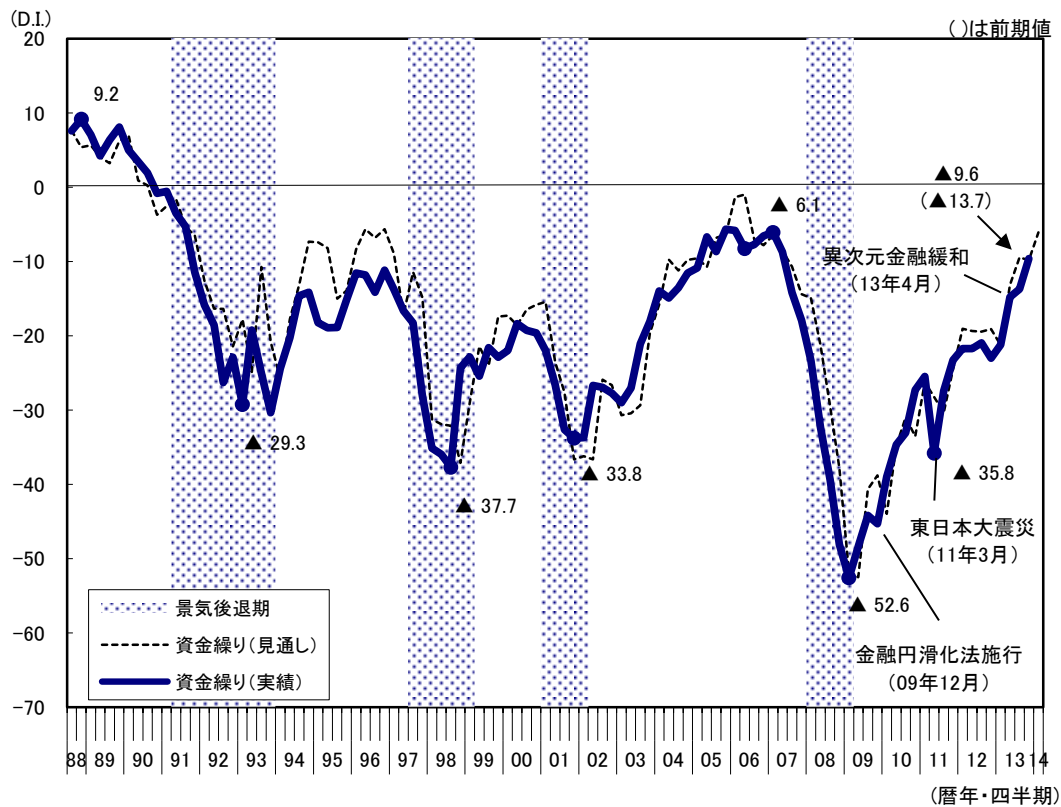
(2) 借入難易感状況

・借入難易感D. I. は、マイナス幅がやや縮小した。

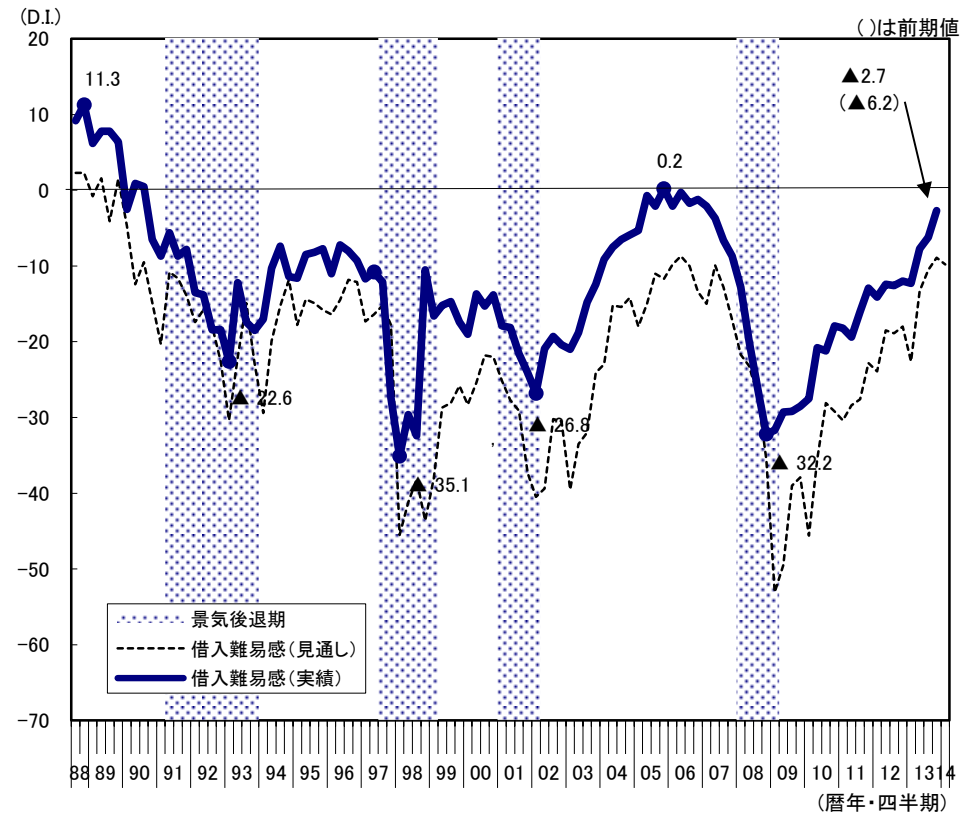
		2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
借入難易感D.I.	実績	▲ 12.0	▲ 12.3	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 2.7	
	見通し	▲ 18.0	▲ 22.6	▲ 13.3	▲ 10.5	▲ 8.9	▲ 9.8

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD. I. (季節調整値)の推移



借入難易感D. I. の推移



(3) 借入れの状況

・今期(13年10~12月)に借入を実施した企業の割合は、横ばいとなった。

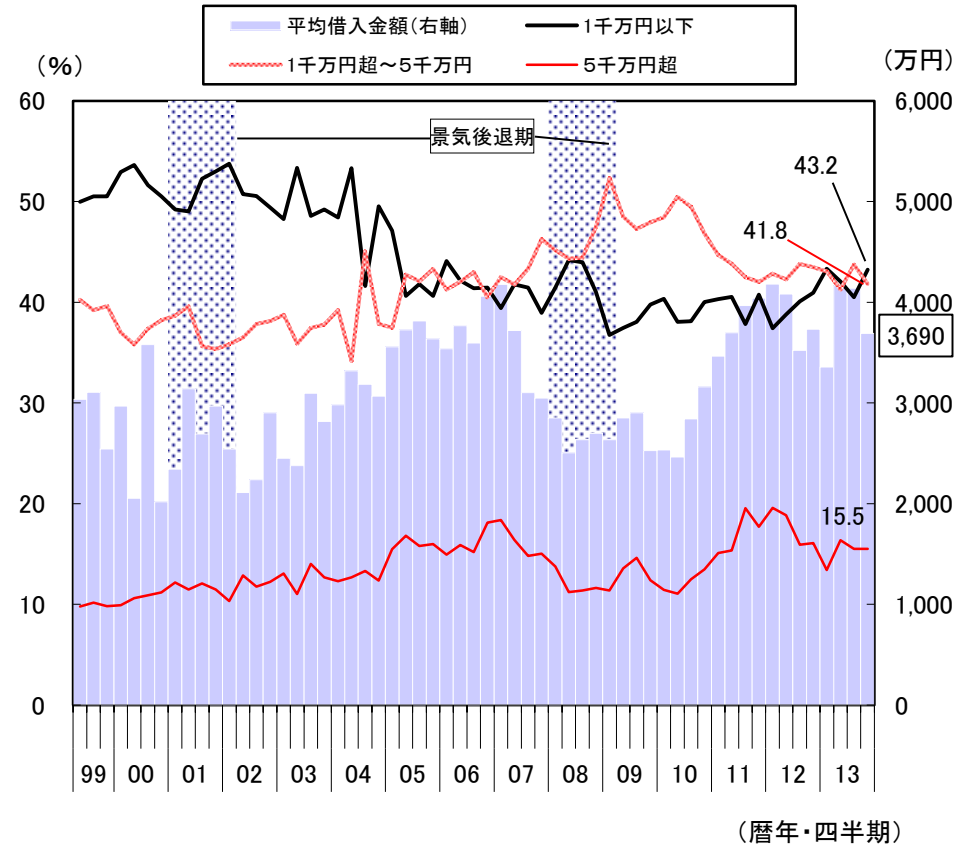
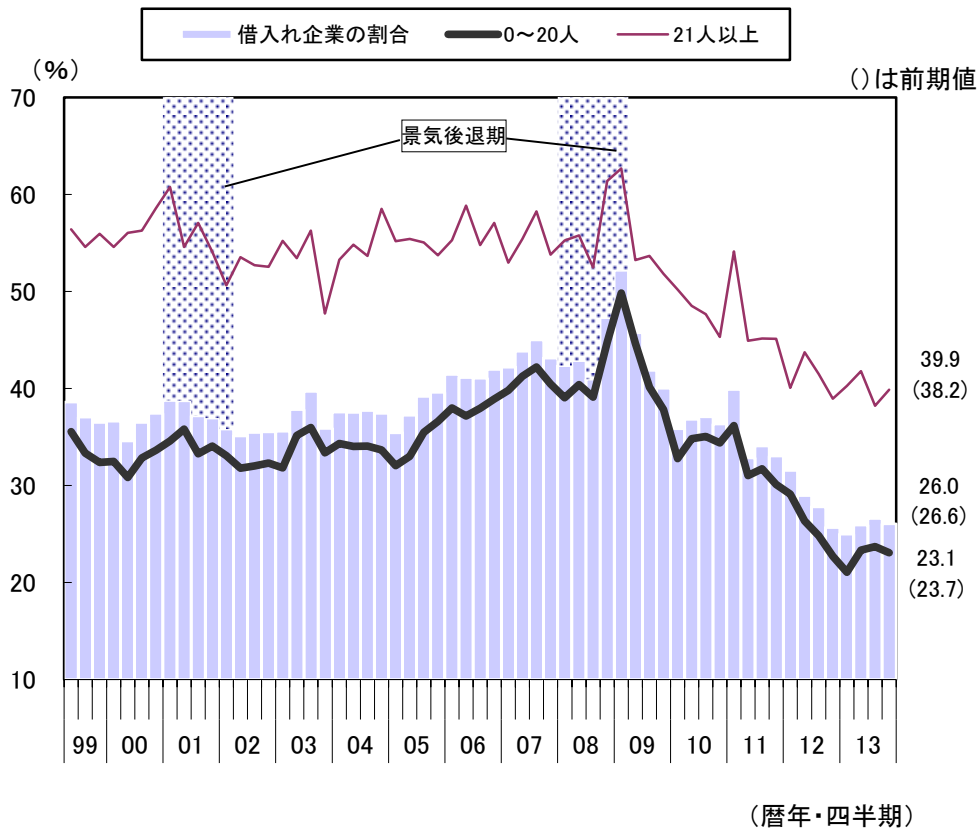
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」が増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12
借入れ企業の割合	25.7	25.0	25.9	26.6	26.0
0-20人	22.7	21.1	23.3	23.7	23.1
21人以上	38.9	40.3	41.8	38.2	39.9

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

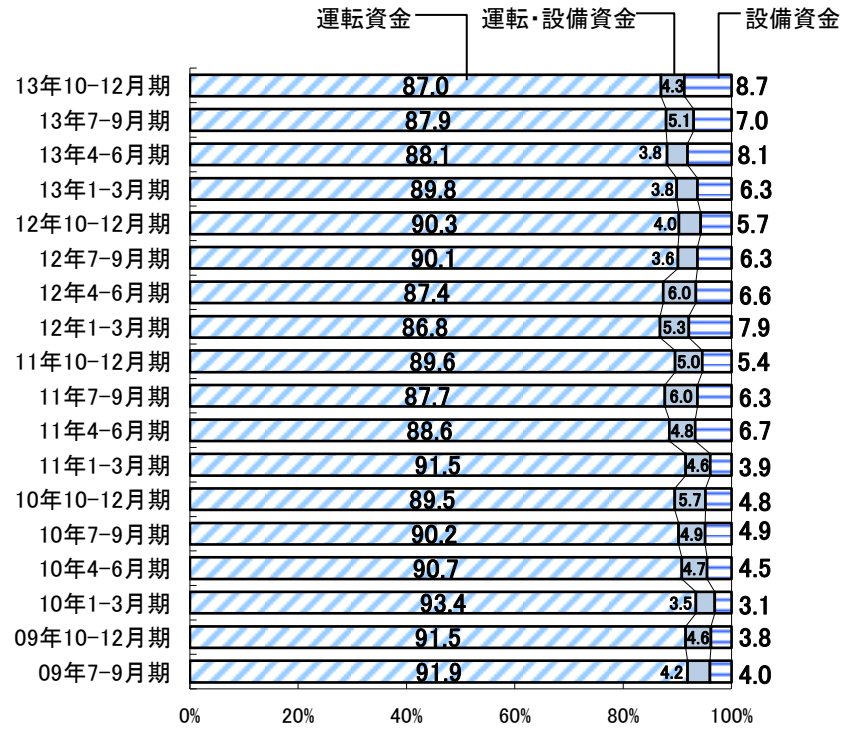
	2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12
1千万円以下	40.9	43.3	42.1	40.5	43.2
1千万円超~5千万円	43.5	43.0	41.3	43.7	41.8
5千万円超	16.1	13.4	16.4	15.5	15.5



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

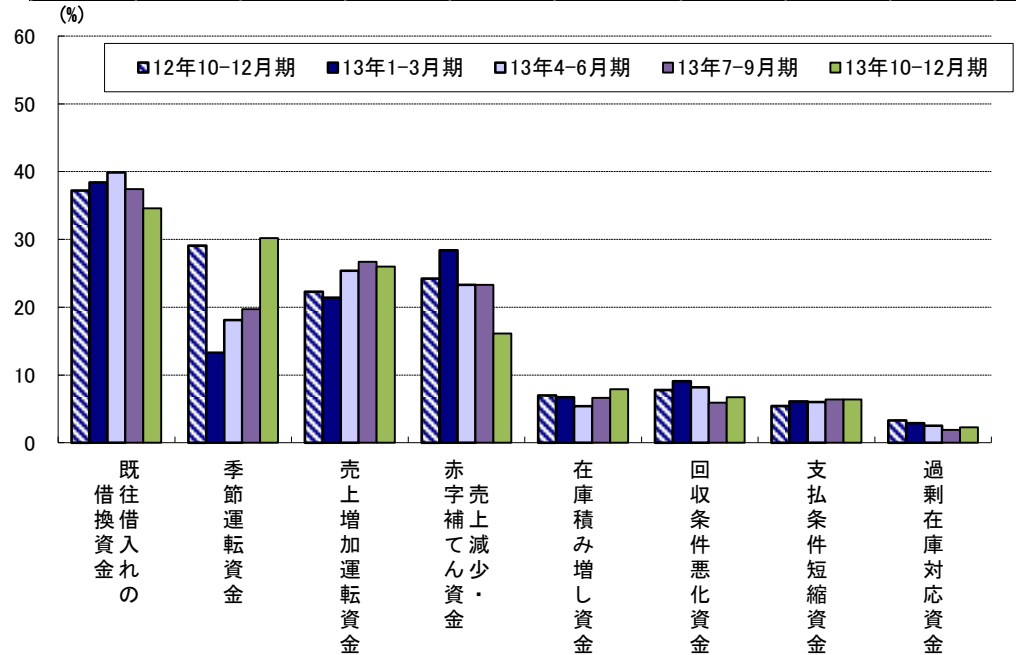
- ・資金使途については、設備資金がやや増加した。
- ・運転資金の内訳では、「売上減少・赤字補てん資金」が大きく減少した。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)		既往借入れの借換資金	季節運転資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	在庫積み増し資金	回収条件悪化資金	支払条件短縮資金	過剰在庫対応資金
13年	10-12月期	34.6	30.2	26.0	16.1	7.9	6.7	6.4	2.3
	7-9月期	37.4	19.7	26.7	23.3	6.6	5.9	6.4	1.9
	4-6月期	39.9	18.1	25.4	23.3	5.4	8.2	6.0	2.5
	1-3月期	38.4	13.3	21.4	28.4	6.7	9.1	6.1	2.9
12年	10-12月期	37.2	29.1	22.3	24.2	7.0	7.8	5.4	3.3



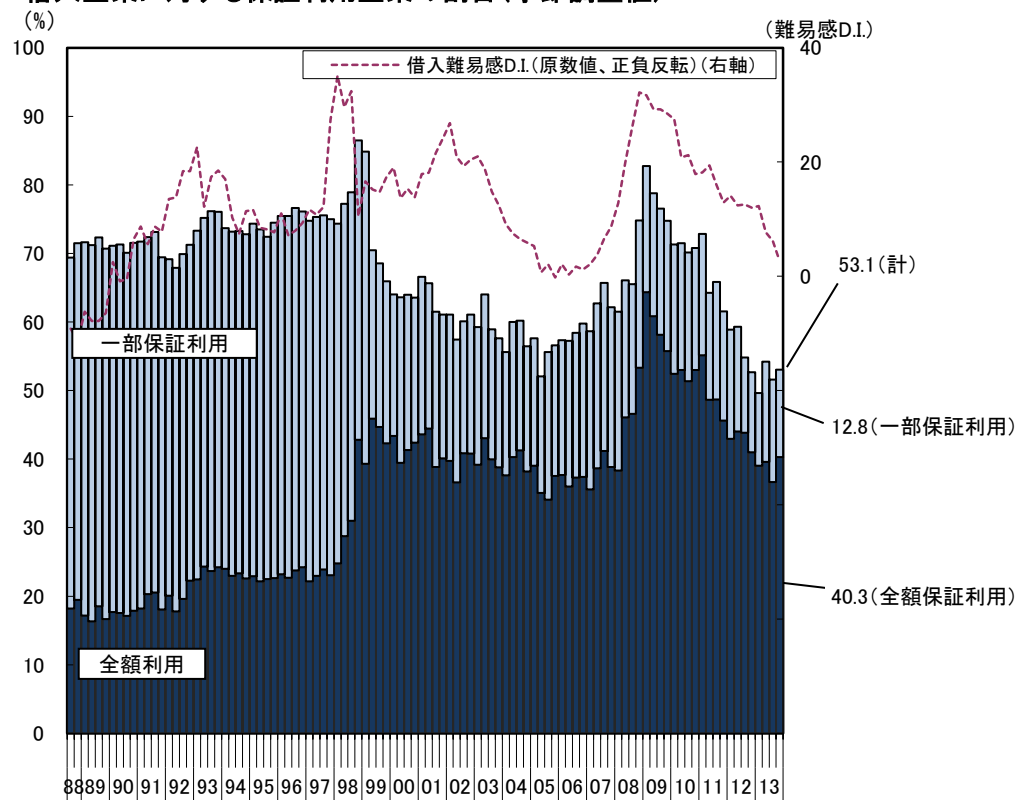
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
 2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

- ・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。
- ・保証利用割合別にみると、「全額利用」の割合がやや増加した。

	2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12
保証利用企業の割合	52.6	49.7	54.2	51.6	53.1
全額利用	41.0	39.1	39.6	36.6	40.3
一部利用	11.6	10.6	14.6	15.0	12.8
プロパーのみ利用企業の割合	47.4	50.3	45.8	48.4	46.9

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(暦年・四半期)

(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

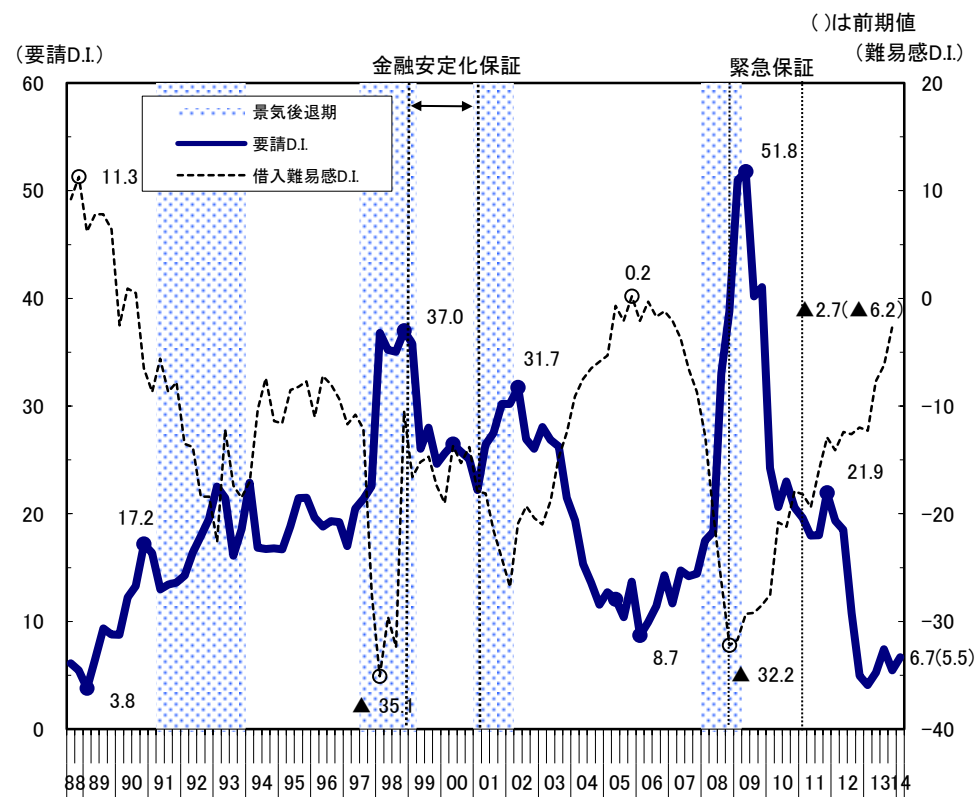
- ・次期(14年1~3月期)における保証利用要請D. I. は、プラス幅がやや拡大したものの、依然として要請度合いは弱い。

	2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
要請D.I. 見通し	5.0	4.1	5.2	7.4	5.5	6.7
借入難易感D.I. 実績	▲ 12.0	▲ 12.3	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 2.7	

(注) 1. 前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。

2. 借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D. I. (季節調整値)及び借入難易感D. I. の推移



(暦年・四半期)

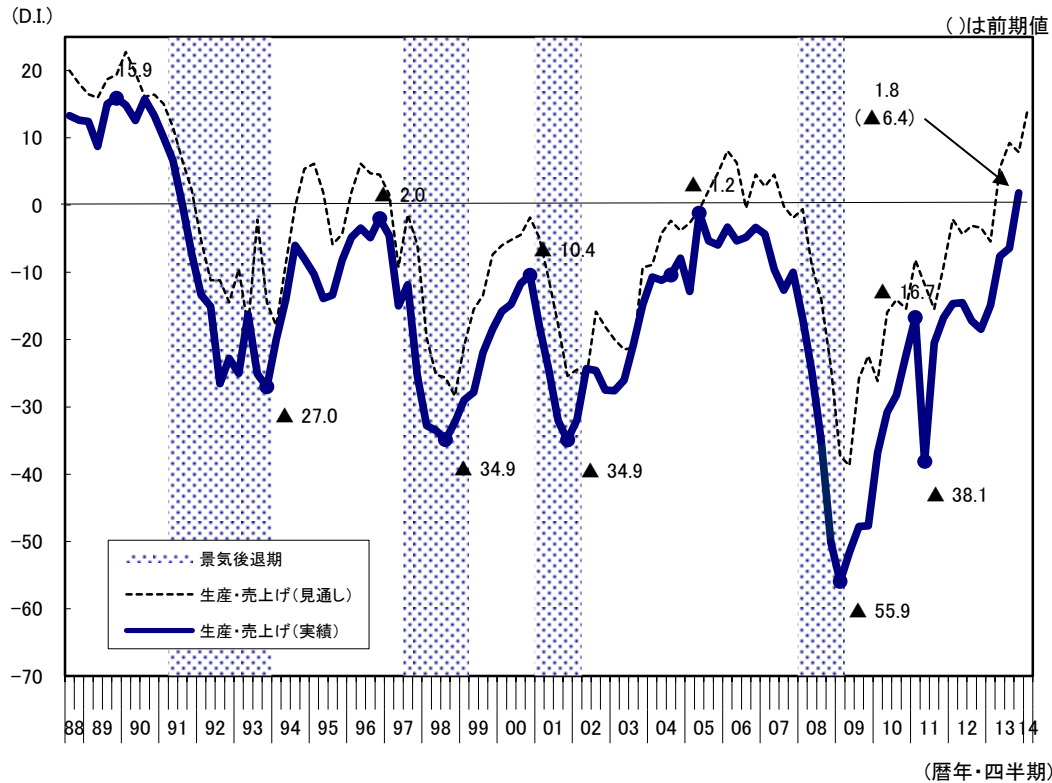
(5) 生産・売上げ状況

・生産・売上げD. I. は、バブル期以来、はじめてプラス水準に転じた。

		2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
生産・売上げD.I.	実績	▲ 18.4	▲ 14.9	▲ 7.6	▲ 6.4	1.8	
	見通し	▲ 3.4	▲ 5.4	5.5	9.2	7.9	14.4

(注) 前期比。生産・売上げD.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

生産・売上げD. I. (季節調整値)の推移



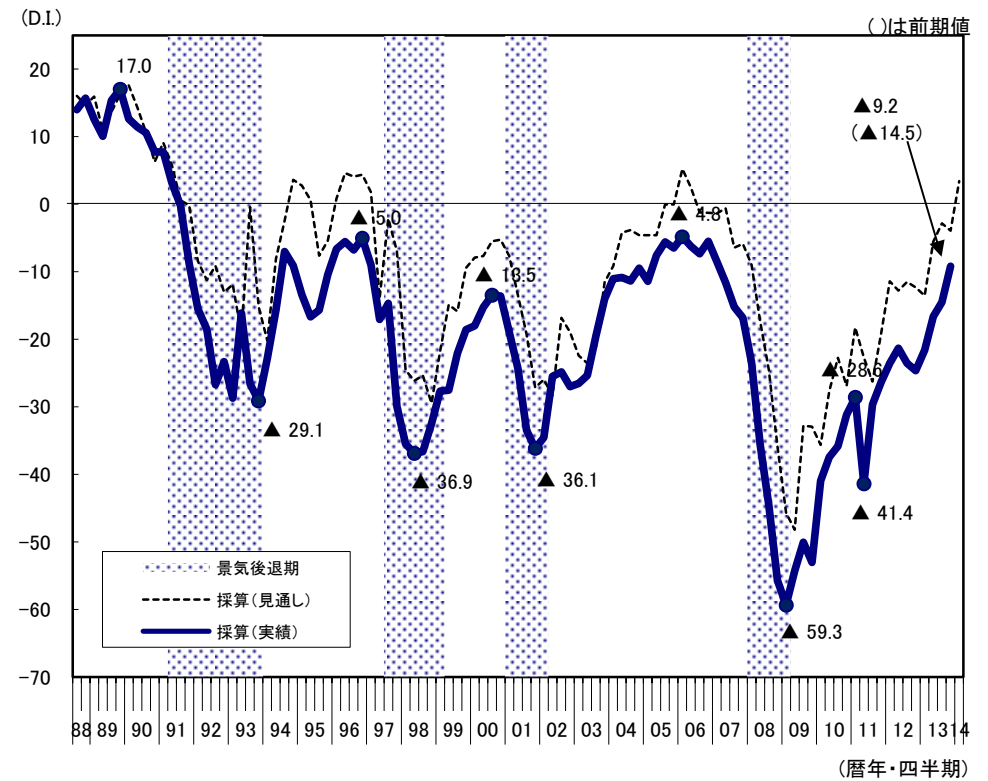
(6) 収益状況

・採算D. I. は、マイナス幅が縮小した。

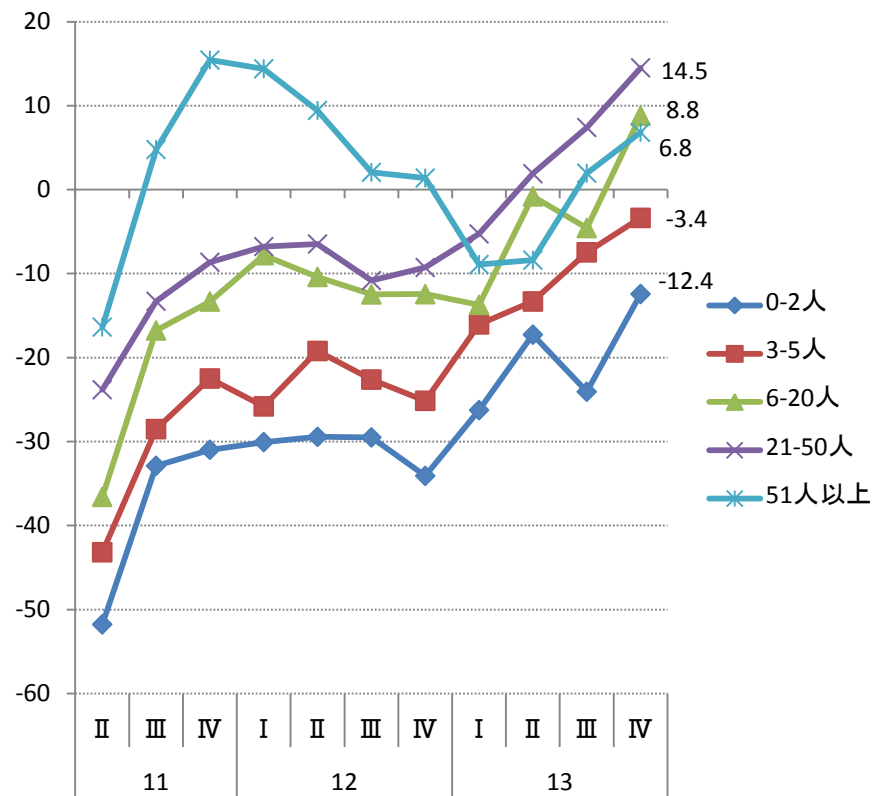
		2012/10-12	2013/1-3	4-6	7-9	10-12	2014/1-3
採算D.I.	実績	▲ 24.6	▲ 21.6	▲ 16.6	▲ 14.5	▲ 9.2	
	見通し	▲ 12.3	▲ 13.6	▲ 5.5	▲ 2.9	▲ 3.9	3.4

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

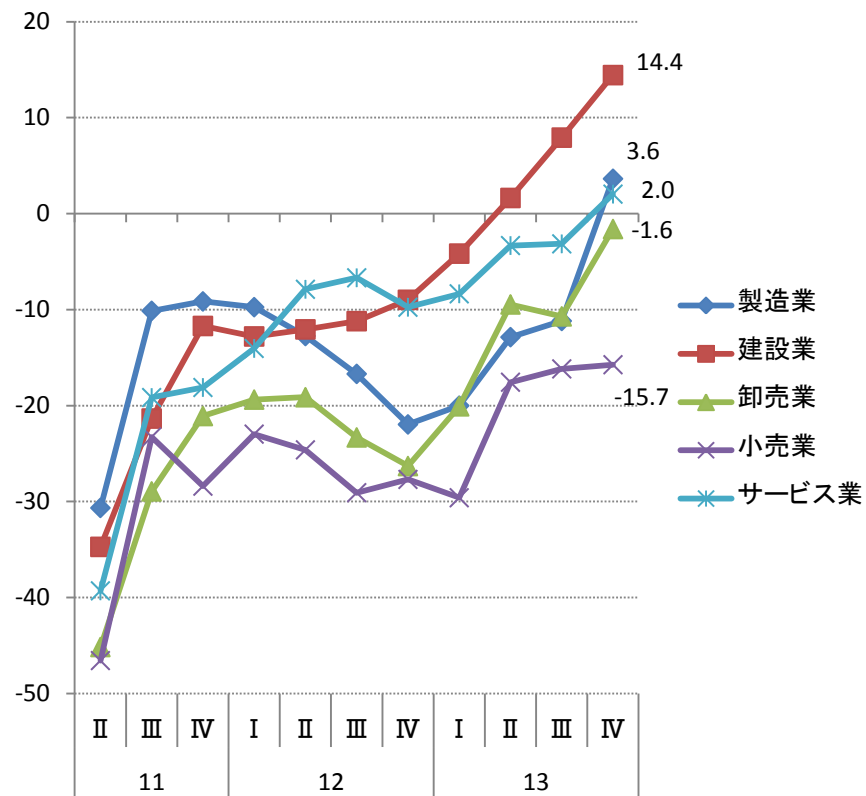
採算D. I. (季節調整値)の推移



【参考資料1】生産・売上D.I.(規模別)



【参考資料2】生産・売上D.I.(業種別)



生産・売上D.I.(規模別)は規模の大きな企業ほど改善が顕著であり、今期は「6-20人」で新たにプラス水準に転じた。また、従業員5人以下の企業では、未だマイナス水準にあるものの、改善してきている。

生産・売上D.I.(業種別)は今期新たに製造業及びサービス業でプラス水準に転じ、建設業を含めて3業種がプラス水準となった。卸売業は改善しているものの、未だマイナス水準に留まっており、小売業は横ばいであった。